

2月2日（月）から7日（土）の6日間、学术交流協定を締結しているタイ（保健省疾病対策局、マヒドン大学公衆衛生学部）、インドネシア（国立インドネシア大学医学部）、および関連機関より、医師・保健師・大学院生ら計34名を受け入れ、日本の産業保健活動に関する国際集合研修を実施しました。期間中は、日本の産業保健の歴史や制度を学ぶ講義に加え、一般財団法人西日本産業衛生会、株式会社安川電機（中間事業所）の視察も行いました。参加者にとって、実際の現場を訪問したことは、母国での実務や今後の研究に活かせる多くの知見を得る機会となりました。この場を借りて、ご協力いただいた先生方および関係者の皆様に、改めて御礼申し上げます。



講義の様子



計測機器等を用いた実習



株式会社安川電機（中間事業所）の視察



修了証と共に